

## バークレイズ、ニューヨーク州金融サービス局と外国為替電子取引に関する和解を発表

バークレイズ・バンク・ピーエルシー(以下バークレイズ)は、本日ニューヨーク州金融サービス局(以下DFS)と、2009年から2014年間のバークレイズの外国為替(FX)電子取引とFX電子取引システムに関する調査に関し、主として内部管理態勢の不備にかかる民事制裁金として、バークレイズが1億5,000万米ドル支払うことで合意に至ったことを発表しました。

和解に伴って発生した民事制裁金の支払はバークレイズの2015年度第4四半期の決算に反映されます。

バークレイズは既に発表した通り、引き続き進行中の調査に協力し、関連する訴訟リスクを管理していきます。

本件に関するお問い合わせ先

インベスター・リレーションズ

キャサリン・マグレランド

+44 (0) 20 7116 4943

メディア・リレーションズ

トム・ホスキン

+44 (0) 20 7116 6927

### バークレイズについて

バークレイズは、個人・法人向け銀行業務、クレジットカード、投資銀行業務、資産管理業務などさまざまな金融サービスを欧州、米州、アフリカ、アジアといった地域で展開している国際的な金融機関です。バークレイズは、人々が目標を実現できるよう、正しい方法で手助けをすることを目標としています。

325年の歴史と銀行としての専門性を備えたバークレイズは、50カ国で約13万人もの従業員を擁しています。世界中のお客様に、為替、融資、投資、資産管理などのサービスを提供しています。より詳細な情報は、グループのウェブサイト

[www.barclays.com](http://www.barclays.com) をご参照ください。

本稿は、バークレイズ・グループが2015年11月18日に発表した英文、「Barclays announces settlement with New York State Department of Financial Services regarding foreign exchange electronic trading」の日本語抄訳です。その正確な内容につきましては、原文である英文リリースをご参照ください。本稿と原文において齟齬がある場合には原文が優先します。リリース原文は <http://barclays.com/> のニュースセクションでご覧いただけます。